

## 交通政策審議会海事分科会船員部会第2回水先小委員会議事録（抜粋）

(平成21年4月13日)

### 【杉山委員長（早稲田大学大学院商学部学術院教授）】

今日いろいろ出していただきましたご議論をどう論点整理につなげていくのかが今後の課題になろうかと思います。この論点整理は、船社側さんが主体でやるというんじやなく、あるいは水先人会さんが主体でやるんじやなくて、できる限り中立に行うことが必要になってくると思います。

私は、できれば国土交通省の方で今日のご議論を整理した上で、たたき台的なものが出来たならば、それをそのままではなくして、事前に私が判断させていただいて、これであれば審議会の場としてふさわしいのではないかと、こんなような形でお諮りしたいと思うのですけれども、どうでしょうか。

### 【大野海事局次長】

先生のおっしゃることはよく分かりましたが、果たしてそれがいいのかというのをございまして、水先人側の委員の方々も、先ほどから改善する、改革はすると再三おっしゃっておられますし、船社側の委員の方も、ここが問題だとおっしゃっておられるので、本来は、まず、両者で話し合っていただくのが筋だと思っております。

ただ、私どもが少し汗をかいて論点整理を行った上、杉山先生にご覧いただき、こういう方向で話し合うのがいいのではないかという方法を取った方が両者共やりやすいというのであれば、労を惜しむものではございません。

この点につきまして、船社側及び水先人側のご意見を伺いたいと思います。いや、我々がやると言うのであれば、私は遠慮させていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

### 【杉山委員長】

いかがでしょうか。

私は、大野次長が言われるように、本来は船社側と水先人側の双方で話し合っていただく、解決策を見出していくだくというのが、市場経済システムをとっている我が国においてはベストだというように思いますけれど、現実問題としてなかなかスムーズに行つていないと、この場が設けられたというように思いますので、具体的な話になるのかどうかは別にしまして、基本的にこういう方向でやれば、よりよい水先制度が進むのではないかというような形でお諮りするのがよろしいかと思います。

大野次長のご提案について、むしろ船社側と水先人側の双方でやっていただけるかどうか。もしそうであれば、それが一番好ましいし、そうでなければ、また次の論点整理に結びつかなければいけないということですけれども、どうでしょうか。

### 【原田委員（（社）日本船主協会港湾関連業務専門委員会副委員長）】

基本的に委員長のお考でよろしいかと思うんですけども、もちろん、水先人側とユーザー側のお話し合いをすることはやぶさかではないんですけども。法的に許されればですね。

ただ、具体的な改善案が出てこない限り、今までお話ししている繰り返しになるので、あまり意味がない、プロダクティブじゃないと私は思います。ですから、そういう意味で、国土交通省さんのほうで論点整理された上で、何らかの改善策に近いものが出てくれば、それはユーザー側としても検討をするということになろうかと思います。

### 【福永委員（日本水先人会連合会副会長）】

最終的にはユーザーさんと直接いろいろ具体的な詰めをやらなければいけないと思っております。それは当然避けて通れない。ただ、小委員会で突っ込んだ各論まで行けるかどうかというのもありますし、次回までの整理ということであれば国土交通省にお任せしたいと思います。

### **【杉山委員長】**

私が具体的と言ったのは、ちょっと誤解があるかもしれませんけれども、例えば、料金の何割と、そういう具体的な数字、これは多分できないだろうと思います。ただ、制度として、こういう制度がより好ましいのではないかというようなところで、可能な限り具体的な姿を模索するということになろうかと思います。

### **【大野海事局次長】**

それでは、審議会でございますので、あくまでも杉山委員長にご案内いただくという前提のもとに進めさせていただきます。ただ、杉山先生に案の作成をお願いするのはご負担となるかと思いますので、それをお手伝いさせていただくという形で、例えば指名制と応召義務の関係、あるいは料金の関係の部分について少し整理させていただきます。また、先ほど水先人側からご提示されました教育等の問題も、非常に重要な課題だと思っております。

こちらが整理を行わないと生産的な議論にならない可能性もございますので、我々がお手伝いさせていただきます。両者から怒られるような気がして、個人的には嫌なのですが、やらせていただきます。

### **【杉山委員長】**

誤解のないように繰り返させていただきますと、論点整理というのは結論ではなくて、こういうような形でもってお互いに議論をしてよい知恵を出しましょうと。そのための題材をつくらせていただくと、こういうことでございますので、誤解がないようにお願いしたいと思います。